

## ☆ ボランティアさんの一言 ☆

気象庁によると、この冬はラニーニャ現象が続いて西高東低の気圧配置が強まり日本海側を中心に大雪になる可能性があります。

ラニーニャ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近からペルー沖にかけての海面水温が平年よりも低くなる現象です。原因は、貿易風の勢力が拡大して風が強まることで、温かい海水がインド洋から太平洋熱帯域西部にかけて西へと押しやられることで、ペルー沖にかけては深海から冷水が引き上げられ海面水温が下がります。ちなみに、この逆の現象をエルニーニョ現象と言います。

天体観測は天候に左右されるので、安全に今年も楽しい天体観測ができるといいですね。

(by 星のじいじ)

開館時間：15：00～21：30

☆ 1月の見頃の時間は18：30ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台  
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

# くらぶちこども天文台

## 2023★1月の星空

あけましておめでとうございます！昨年<sup>さくねん</sup>は当館<sup>とうかん</sup>にたくさん<sup>あそ</sup>遊び<sup>ほんとう</sup>にきていただき、本当にありがとうございます<sup>ことし</sup>ました。今年<sup>とうかん</sup>も当館<sup>てんたいかんそく</sup>へたくさん<sup>き</sup>天体観測<sup>いちどう</sup>をしに<sup>みな</sup>来て<sup>すてき</sup>ください<sup>ほしぞら</sup>ね！スタッフ<sup>おも</sup>一同、皆さま<sup>で</sup>が<sup>つく</sup>素敵な<sup>がんば</sup>星空<sup>おも</sup>の思い<sup>おも</sup>出<sup>おも</sup>を作れる<sup>おも</sup>よう、頑張<sup>おも</sup>って<sup>おも</sup>いきたい<sup>おも</sup>と思います<sup>おも</sup>！さあ、まずは今年<sup>おも</sup>の干支<sup>おも</sup>にもなっている<sup>おも</sup>“うさぎ”<sup>おも</sup>座<sup>おも</sup>を見<sup>おも</sup>つけ<sup>おも</sup>に行<sup>おも</sup>きませんか<sup>おも</sup>？





# 今月の星座

北

西

東

南



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より

誕生星座は、【おひつじ座】【おうし座】が見ごろになり、【ふたご座】もそれに続いて昇ってきます。また、火星が見頃で、夕方であればまだまだ木星も楽しめる時期です。北を示す【カシオペア座】も高く、空が良ければ“冬の”天の川も観測できますよ！

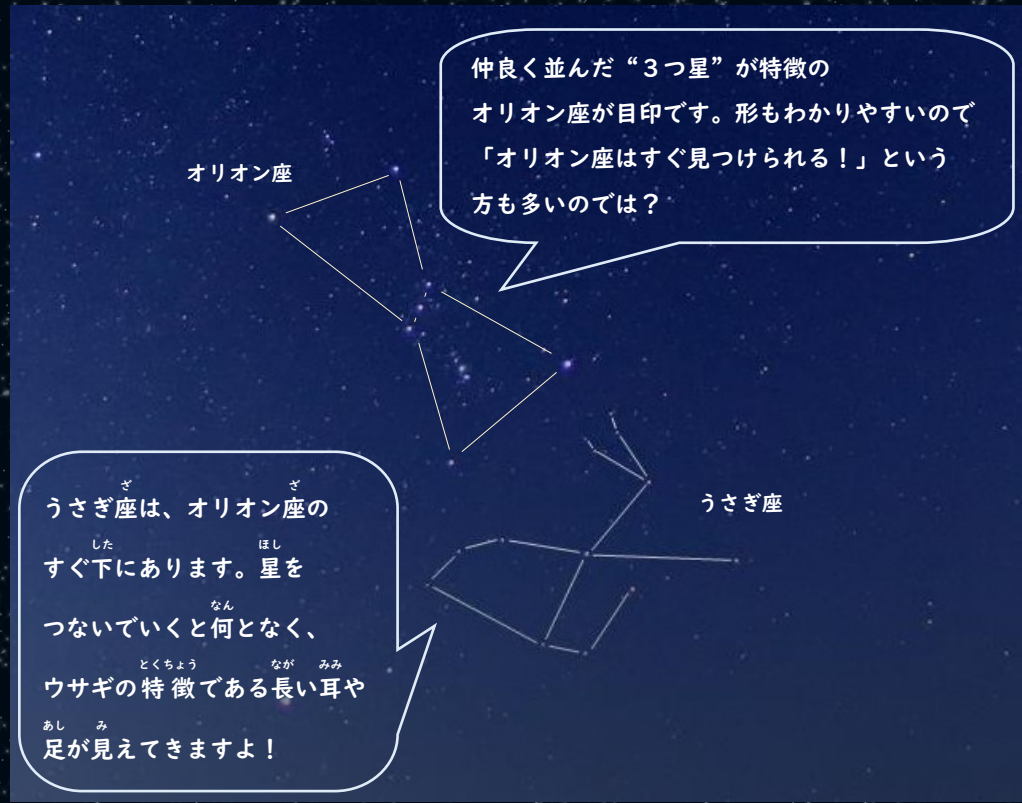
明るい星の多い豪華な冬の星座たちのシーズン開始です！

# 星空トピックス『干支な星座』

あらた 改めまして、あけましておめでとうございます！早速ですが、今年の干支は『うさぎ』ですね。この『うさぎ』、実は冬の代名詞でもある【オリオン座】の下にもいるんです！

## ◇ 見つけやすいオリオン座の下

干支と星座はもちろん文化が違うので、干支と同じ星座があるわけはありません。昨年の『とら』も星座にはありませんでした。でも今年の『うさぎ』は星座にも。しかも、お正月のある冬に見られるなんて、なんだか親近感があります。ぜひ、見つけてみてくださいね！



仲良く並んだ“3つ星”が特徴のオリオン座が目印です。形もわかりやすいので「オリオン座はすぐ見つけられる！」という方も多いのでは？

うさぎ座は、オリオン座のすぐ下にあります。星をつないでいくと何となく、ウサギの特徴である長い耳や足が見えてきますよ！

うさぎ座